

## 水と共に生きる

山添村立山添中学校 三年

井ノ岡 優奈

私の母は、毎晩遅くまで仕事に行き、私と弟の塾やサッカーの送迎を毎日のようにしてくれず。そんな母が突然、手や足が痛くなるという病気にかかりました。いろんな病院に行っても原因不明で、薬を飲んでも治ることはありませんでした。そんな毎日を過ごし仕事も休む日が続きました。

ある日、インターネットを開けていると、「水を飲む治療」という文字が目にとび込んできました。私と母は半信半疑でクリックしました。読んでみると、「毎日本水をコップ一杯飲むことで血流が良くなり、健康な体になる」と書いてありました。水で健康になるなら医者はいらないとも思いましたが、母は実践してみることにしました。

二週間たった日のことです。あれほど強かった手足の痛みが嘘のように消え、今では以

前のように仕事と送迎をしてくれるようになりました。

この病気がきっかけで、私自身も母に対する感謝の気持ちに気づくことができ、何より水の力に驚きました。医者にも治せなかった病気を、山に降った雪や雨の自然に任せられた。自然の力でできた水が治してくれるなんて。水が私の家族を救ってくれたようです。

しかし、私達がこのように毎日本水を飲めるのは自然の力だけによるものではありません。人間の努力でおいしい安全な水ができるのです。それは、ダムや浄水場のおかげです。これは、短時間で簡単にできることではありません。皆の知らないところで人々の苦労があるからこそ、私たちは水と共に生きることが

できるのです。ある夏の日、父と母と弟と私の四人で魚釣

りに行くことになりました。太陽が照りつけた魚釣りには絶好の日でした。父はいつもより少し奥をねらって根気強く待ちました。しかし、なかなか釣ざおが動くことはなく汗と時間だけが流れていきました。父は、「この川はゴミがいっぱい汚いからな。魚も減ってきてるわ。」とつぶやいていました。たしかにそうなので。空カンが浮かんでいたり、水が濁って魚が見えません。私は、このままだと、魚や生き物すべてが消えていくのではないかと思いました。私たち人間の小さな心遣いでこの地球上に存在する生き物や植物を救うことができると、より人間や植物の体に吸収でき、健康な体を作ることが可能になります。また、幼い頃祖母と一緒に花の水やりをしていたときがありました。三日坊主の私に、毎日続けることは難しかったことを覚えていません。しかし、私がさぼったことで、元気がいいのひまわりがしおれまるで泣いているように思いました。植物を育てるといふことは、人間と同じ命をあずかっているのだと最近思う

ようになりました。花の水やりからも、水の大切さを学ぶ事ができました。私が今まで経験してきたことは、すべて水イコール命と関係しているように思います。蛇口をひねれば簡単にでてくる水。何の考もなく捨てている水、そんな水を、少しでも役に立てたい。私はそう考えています。水は命を救ってくれるのです。また、私たち人間も水の命を救うのです。こうして、私たちは水と共に生きていくのです。